

山形大学

人文社会科学部
人文社会科学科

キャリア教養学科

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

高校3年生の冬頃です。友人から編入学制度があることを教えてもらい、編入試験という一般入試とは別の形で四年制大学に合格したいと思ったからです。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

1年生の後期から英語の授業や「キャリアデザイン」という授業で小論文の対策が行われていました。授業の中で出される課題が多く感じた時もありましたが、志を同じくしている人が沢山いたので頑張れました。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

私は英語の資格の勉強にずっと力を注いでいたので、本格的に過去問を解いて添削してもらったのは2年生の前期です。学科を超えて多くの先生にコンタクトを取りました。誰一人として、同じ意見を持った先生はいなく、どの先生の意見もためになりました。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

入学する前の春休みから TOEIC の対策を自分で行っていました。短大1年の長期休みも TOEIC や英検の勉強を行いました。英語は高校生の頃から継続して勉強していたのが良かったのだと思います。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

知識を有機的につなげられるようになりました。高校までは特定の教科だけしか興味を持たず、それ以外の教科の勉強量は少なくなってしまうのですが、短大に入ってから学問の領域にとらわれず多様な授業を履修することで、授業と授業の知識を結びつけられるようになりました。このことを知ってからは、授業だけでなく、書籍も様々なジャンルのものを手に取るようになりました。

Q. 先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

私は国際系のコースを受験することになったので、アンドリュー先生というネイティブの講師から外国人の視点を教えて頂いたことです。本番の面接でこの視点を中心に短大で学んできたこと、大学で学びたいことなどを話すことが出来ました。

Q.①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

- ① 短大の中で1番努力する学生になろうと思っていました。
- ② 短大では志望する学校の受験対策を早めに行おうといった編入試験のことをずっと考えていました。
- ③ 面接で答えられなくなってしまうのではないかと不安でした。
- ④ 面接で何度も突っ込まれてしまっていたので、合格したことが信じられませんでした。

Q.これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

自分を支えてくれている人たちへの感謝の気持ちを大切にしてください。
編入をするために勉強をさせてもらえる環境にいる人は非常に幸せな環境にいると思います。短大に通わせてもらえるだけでも十分なことなのに、その上編入となると経済的な負担が莫大になります。よって、編入する意味はちゃんとあるのか、2年間の努力で合格が可能な大学か、そして編入にかかる費用をよく考えるべきです。以上を踏まえた上で編入を決意したら、頑張るのみです！そして、合格したら応援してくれた人たちを早く安心させて下さい。自分以上に自分の進路を心配してくれる人たちがいるので。

